

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160587053701	科目番号 / Subject code	05870537
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	変わり行く社会を生きる3 (多文化社会) / multicultural society		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	川越 明日香 / Kawagoe Asuka, 楠山 研 / Kusuyama Ken, BEH SIEWKEE / Shuki Bee, 藤井 勉		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	川越 明日香 / Kawagoe Asuka		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	川越 明日香 / Kawagoe Asuka, 楠山 研 / Kusuyama Ken, BEH SIEWKEE / Shuki Bee, 藤井 勉		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生 (クラス等) / Object Student	医学部、歯学部、工学部、環境科学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	川越 明日香 kawagoe@nagasaki-u.ac.jp ベージュウキー skbeh@nagasaki-u.ac.jp 楠山 研 kusuyama@nagasaki-u.ac.jp 藤井 勉 tsutomu@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	川越 明日香 教育学部254-1号室 ベージュウキー 教養B棟111号室 楠山 研 教育学部219号室 藤井 勉 アドミッションセンター		
担当教員TEL/Tel	川越 明日香 095-819-2773 ベージュウキー 095-819-2381 楠山 研 095-819-2395 藤井 勉 095-819-2452		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールでアポイントを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	国際社会で活躍する人にとって多文化理解能力は必須である。本授業においては、韓国・マレーシアなどの文化を例に取り上げ、その特徴を理解するとともに、共生社会について考える。		
授業到達目標/Goal	他国の文化の特徴について探求し、理解することができる (自主的探求、 基盤的知識)。共生のための相互理解のあり方について考え、表現することができる (多様性の意義、 批判的思考、 自己表現)。		
授業方法 (学習指導法) /Method	講義、プレゼンテーション、グループ討論など		
授業内容/Class outline/Con	隣国、韓国やマレーシア等の例を見ながら、多文化社会がかかえる課題について理解する。さらに、それぞれの違いを認識し、共に生きる、共生社会について考える。		
キーワード/Key word	多文化理解、多言語社会、共生社会、韓国、マレーシア、カリキュラム		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	配布資料 (ファイリングした上で、毎回の授業に持参してください)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	各教員25点 (予習課題 + 授業中の活動 + 定期試験) で採点を行なう。授業に出席した時数が3分の2に達しない場合は、失格とする。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	各授業は授業外学習 (予習課題、プレゼン準備) を前提に行われます。また授業内では、グループ活動が中心となります。メンバーひとりが積極的に活動に貢献し、協働することが求められます。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション、LACS説明		
第2回	ことばとコミュニケーション [担当 : 川越教員]		
第3回	韓国理解のキーワード [担当 : 藤井教員]		
第4回	韓国理解のキーワード [担当 : 藤井教員]		
第5回	韓国理解のキーワード [担当 : 藤井教員]		
第6回	日本人の人気移住先No 1 ? ! [担当 : ベー教員]		
第7回	3つの時間割表からみるマレーシアの教育と言語 [担当 : ベー教員]		

第8回	3つの時間割表からみるマレーシアの教育と言語〔担当：ペー教員〕
第9回	多民族社会の魅力と課題〔担当：ペー教員〕
第10回	世界の学校と日本の学校〔担当：楠山教員〕
第11回	国境を超える子どもたち〔担当：楠山教員〕
第12回	教室の中の多文化〔担当：楠山教員〕
第13回	わたしたちができること〔担当：楠山教員〕
第14回	最終プレゼンテーション〔担当：川越教員〕
第15回	最終プレゼンテーション〔担当：川越教員〕
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160587053901	科目番号 / Subject code	05870539
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	変わり行く社会を生きる3 (障がいと社会) / Inclusive society		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	川越 明日香 / Kawagoe Asuka, 松本 優花里 / Yukari Matsumoto, 劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	川越 明日香 / Kawagoe Asuka		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	川越 明日香 / Kawagoe Asuka, 松本 優花里 / Yukari Matsumoto		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生 (クラス等) / Object Student	医学部、歯学部、工学部、環境科学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kawagoe@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部254-1号室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2773		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールでアポイントを取ってから来室してください。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	心理学の立場から脳の器質的な損傷によるコミュニケーションの障がいを理解し、共生社会について考える		
授業到達目標/Goal	ことばの発達について理解できる。(自主的探求、批判的思考、相互啓発志向) 脳とことばの関係を理解できる。(自主的探求、批判的思考、相互啓発志向) 脳の機能不全によることばに関連した障害様相について理解できる。(自主的探求、批判的思考、相互啓発志向) 障害と健常の垣根を越えて、授業で学んだことを、よりよいコミュニケーションを目指した実生活に生かすことができる。(社会貢献意欲、多様性の意義)		
授業方法 (学習指導法) /Method	集中講義形式で行います。講義と、講義に関連した実験、グループワークとプレゼンテーション、そしてグループディベート等を随時取り入れていきます。そのため、それぞれの作業に必要な内容を事前に準備することが必須となります。事前の準備の内容については提出を求め、成績評価の対象とします。また、障害様相を把握するため、視覚教材の視聴も行いません。各授業終了時には、質問や感想を書くためのコミュニケーションカードの記入を求めます。コミュニケーションカードは、次回の授業での振り返りや皆さんの授業の理解度の確認に利用します。		
授業内容/Class outline/Con	1. 良い聞き手になるための方法を学ぶ、子どもの発達 2. ことばの発達に関するプレゼンテーションの準備 3. ことばの発達に関するプレゼンテーション 4. プレゼンテーションフィードバック、ことばの発達に関するまとめ (DVD視聴) 5. ことばの発達に関する振り返り 6. 脳に関するプレゼンテーションの準備 7. 脳に関するプレゼンテーション 8. プレゼンテーションフィードバック、脳の進化と発達、脳の特性と構造のまとめ 9. 脳の進化と発達、脳の特性と構造の振り返り 10. 脳の損傷がもたらす障害についてのプレゼンテーションの準備 11. 脳の障害がもたらす障害についてのプレゼンテーション 12. プレゼンテーションフィードバック、脳の損傷がもたらす障害についてのまとめ 13. 脳の損傷がもたらす障害についての振り返り、脳とことばに関する様々なテーマに関するディベートの準備 14. ディベートしよう 15. 脳とことばのまとめ 16. 試験		
キーワード/Key word	障がい、ことば、脳損傷、認知		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は指定しません。講義内容に即した資料を事前に配布します。授業で紹介する障害の様相をより詳しく理解するため、視聴覚教材を利用します。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	予習による準備物を含む授業時のグループワークやグループディスカッションの成果物 (30%)、予習復習を含むクイズ (15%)、コミュニケーションカードの提出を含む、授業への積極的な参加・貢献度 (15%)、および定期試験 (40%)、から総合的に判断して成績評価を行います。授業に出席した時数が3分の2に達しない場合は、失格		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	アクティブラーニングとは 良い聴き手になる方法
第2回	【ことばの発達】 グループワーク
第3回	【ことばの発達】 プレゼンテーション フィードバック
第4回	【ことばの発達】 振り返り
第5回	【脳の構造と機能】 グループワーク
第6回	【脳の構造】 プレゼンテーション フィードバック
第7回	【脳の構造】 振り返り
第8回	【共生社会とは：シナリオを読んで考える】 PBL
第9回	【様々な障害】 グループワーク
第10回	【様々な障害】 個人でプレゼンテーション
第11回	【様々な障害】 振り返り
第12回	学修成果の共有 プレゼンテーション準備
第13回	学修成果のプレゼンテーション
第14回	ディベート準備
第15回	ディベート
第16回	試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/06/04		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160587054101	科目番号 / Subject code	05870541
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	変わり行く社会を生きる3 (ICTと社会) / ICT and Society		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	福田 正弘 / Fukuda Masahiro, 全 炳徳 / Jun Byungdug, 劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	福田 正弘 / Fukuda Masahiro		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	福田 正弘 / Fukuda Masahiro, 全 炳徳 / Jun Byungdug		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生 (クラス等) / Object Student	医学部, 歯学部, 工学部, 環境科学部		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	fukuda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	教育学部553室		
担当教員TEL / Tel	819-2315		
担当教員オフィスアワー / Office hours	水3		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	ICT機器を制御することは理解するとともに、ICTを活用したコミュニケーションの重要性を学ぶ。また、IT機器の操作を通して、生活を豊かにするICT活用法を学ぶ。さらにICT活用の倫理も身に付ける。		
授業到達目標 / Goal	1) 社会におけるICTの活用とその制御の仕組み、種々の課題について関心を持ち、主体的に課題解決に向け探求しようとする (自主的探求)。 2) ICTを制御している各種言語を理解し、ICT機器を使った表現活動を通してその意味を説明できる (基盤的知識、表現活動)。 3) ICTを活用した社会シミュレーションにおいて、協同して意思決定するとともに、社会認識上の意味を考えることができる (相互啓発志向、批判的思考)。 4) ICT機器の操作を通して、目的にあった適切な情報処理ができる (基盤的知識)。		
授業方法 (学習指導法) / Method	基本事項の講義の後、演習課題を提示、個人演習とともにグループワークを採り入れる。		
授業内容 / Class outline / Con	1 オリエンテーション 2-8【1部 ICTを支える言語】 9-15【2部 ICTを用いた意思決定】 16 定期試験		
キーワード / Key word	IT 言語 マッピング シミュレーション		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	適宜、指示する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	1部2部各50%で、合計60%以上が合格。 欠席が3分の1以上の場合失格。 *評価の方法・観点 1部2部共に、授業中の学習状況、レポート等の課題の成果物、発表内容と態度、試験を総合的に判断する。グループによる活動については、グループの協力状況も評価の対象とする。		
受講要件 (履修条件) / Requirements	特になし。希望者多数の場合は選考になる場合もある。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	毎回の課題とグループワークを重視します。頑張ってください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回 (4月11日)	オリエンテーション		
第2回 (4月11日)	マッピングプラザを支えるICT言語とIT機器		
第3回 (4月18日)	マッピングプラザを支えるICT言語を体験		
第4回 (4月18日)	マッピングプラザを支えるICT言語を体験		
第5回 (4月25日)	マッピングプラザを支えるICT機器を体験		
第6回 (4月25日)	マッピングプラザを支えるICT機器を体験		

第7回（5月2日）	マイ・マッピングプラザの作成
第8回（5月2日）	マイ・マッピングプラザの発表・評価
第9回（5月9日）	ガイダンス・課題提示・グルーピング・シミュレーションのデモ
第10回（5月9日）	シミュレーション1
第11回（5月16日）	シミュレーション1 続き・シミュレーション結果の分析
第12回（5月16日）	発表準備・資料作成
第13回（5月23日）	発表と相互評価・反省1
第14回（5月23日）	発表と相互評価・反省2・まとめ
第15回（5月30日）	シミュレーション2
第16回（5月30日）	まとめ